

## 緑地の地形

- ・ 町田市は、その多くが関東山地から南東に向かって三浦半島へと続く多摩丘陵に属しているが、中町周辺は相模原台地であり、本緑地は、相模原台地のはずれにあたる。
- ・ 本緑地の地形は、大きく2つの谷（西から東への谷と南から北への谷）と南東側（南大谷側）の丘に分けられる。
- ・ 多くが北向き斜面となる。
- ・ 本緑地の谷地形は、恩田川とその支流の湧水が、相模原台地を浸食することによって形成されたと考えられる。
- ・ 谷底部と道路周辺の地形は造成等で改変されている。
- ・ 水路下流部はもともとは谷戸地形で以前は田んぼとして利用されていた。1980年代後半の宅地造成で現状のような地形となっている。
- ・ 標高：本町田なかまち広場 91m、湧水地点 76m、水路最下流部 72m、南東（南大谷側）の丘 90m → 高低差最大 20m程度
- ・ 斜面の角度は、急なところでは 36 度程度（本町田なかまち広場～湧水地点：距離 20m高低差 15mで算出）→「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」でいう急傾斜地（30 度以上）にあたる。→植生の状況からみて、ここ数十年レベルで土砂崩れなどは起きておらず安定していると思われる。
- ・ 土質は、表土の腐植層の下は関東ローム層（赤土）と考えられる。
- ・ 詳しくは、実際に観察しながら緑地をまわって、五感で感じてみましょう！

平成 25 年 12 月 15 日 本町田むかいかみ緑と湧水の会

本町田むかいかみ

検索

honmachida@gmail.com